

発信します。熊本グリーンウォッチング



街路樹、公園、そして森や山の樹木……
緑を見ていて、私たちの目は疲れるということはありません。
人間の目は、緑色を、最も明るく感じ、また、よく見えるようにできています。
私たちの心をなごませ、暮らしに潤いを与えてくれる緑。
あなたも、身の回りの緑にもっともっと触れてみませんか。
そして、この大切な緑をみんなで守り育てていきましょう。
発信します。緑の基地熊本から、グリーンウォッチング。



潮風が

ロマンを運ぶ。

緑豊かな文学の道。



「五足の靴」文学遊歩道

天草町

「五足の靴」それは、明治四十年、雑誌「明星」の与謝野鉄幹や、まだ無名の学生詩人だった北原白秋、木下李太郎、平野万里、吉井勇の五人が天草西海岸を訪ねたときの旅行記です。

この旅行のあと、若い詩人たちの活発な活動が始まり、白秋の「邪宗門」などの作品が生まれ、天草島は若い詩人たちのあこがれの地になりました。

一行がたどった天草路のうち、下田温泉から笠松公園までの約三・七キロメートルの山道が、「五足の靴」文学遊歩道として整備されています。

今年、七月十二日から九月二十四日まで、天草国立公園指定二十周年、天草五橋開通二十周年記念イベントが十五市町で次々に開催。

ここ、天草町でも「天草・五足の靴短歌フェスティバル」が開催され、ポエムのふるさととしての天草が見つめ直されました。

緑に囲まれた文学遊歩道は、森林浴が楽しめるとともに、西海岸から吹き上げる潮風が、散策者の心を和ませてくれます。

熊本県広報誌「くまもとの風」八十三号 昭和六十一年九月十五日発行 発行人・熊本県広報課

熊本市水前寺6丁目18番1号 〒862-0001 (096) 383-1111

白木印刷

ご回覧、ご陳列下さい。